

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 415 号	氏名	林 秀佳
学位審査委員	主 査	中根 秀之	
	副 査	河野 茂	
	副 査	青柳 潔	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、慢性閉塞性肺疾患 (Chronic Obstructive Pulmonary Disease; COPD) 入院及び外来患者のメンタルヘルスの状態を把握し、その有病率と評価尺度の適正使用について明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>入院及び外来 COPD 患者に対して対面調査を実施し、抑うつ症状を精神医学的に標準的なツールを用いて解析した。本研究は、わが国でも数少ない疫学的研究でありさまざまな制約の中で、考えられる種々のサンプルバイアスを可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、COPD 患者において、CES-D(center for epidemiologic studies depression scale)およびHADS (Hospital Anxiety and Depression Scale)により、それぞれ抑うつ状態を示したものの割合は、29.8%、40.5%であり、先行研究に近似する値を得た。これらの評価尺度は、CES-D は COPD の重症度をより反映し、HADS は、抑うつ症状に対して感度が高いことが確認された。さらにロジスティック回帰分析によって、COPD の重症度、治療形態、BMI (Body Mass Index)、教育歴などが抑うつ症状に与える影響を明らかにした。今後の研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は精神保健分野における疫学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			